総会第二部講演

海外支援とカンボジアで知った人生の豊かさ

認定NPO法人　グローブジャングル　副代表
酒井恵理子



河見誠先生からご縁をいただき、青短では2014年度から閉学まで、授業の講話やカンボジアツアーを通してたくさんの学生さんたちと関わってまいりました。そして昨年同窓会カンボジアツアーを開催したことでパワフルな同窓会の皆さまとつながり、今回の総会に呼んでいただく運びとなりました。その熱量と温かさに感謝でいっぱいです。

講演では貧困の中でも力強く笑顔で生きているカンボジアの人たちの話をさせていただきました。

私たちグローブジャングルは、カンボジアで学校建設、奨学金支援、スクール運営、孤児院運営、フェアトレードなど色々なプロジェクトをしています。現在団体設立21年目で、私自身も20年携わっています。海外支援というと対象は〝かわいそうな子どもたち〟のイメージがあるかと思いますが、現地にいて感じるのは〝同じ人間〟であり、彼らの笑顔から支援をしているはずの日本人が与えられることの多さです。日本から見たら足りないものだらけに見える彼らの生活ですが、その中で生きている彼らの強さ、明るさ、学びへの意欲、人の温かさなど今の日本人が忘れかけていることをたくさん思い出させてくれます。そして逆に衣食住が保証され、学びたいことを学ぶことができ、なんでも挑戦することができる、日本人が当たり前で気にも留めない日常がどれだけ豊かでありがたいものなのかということも感じます。

こうした経験から、支援というのは上下とかではなく、幸せの循環なんじゃないかと考えるようになりました。彼らより少し豊かな日本人たちが経済の面でカンボジアの困っている子どもたちを支え、支えに来た日本人が心の豊かさを受け取っている。そうやってお互いに幸せを与え合っていると、気づけば溢れた幸せで自分のまわりの人たちも笑顔になっていく。そうやっていつしか幸せの輪がどんどん広がっていったらどんなに幸せか。



そう思って〝**まわり　めぐる　ハッピー**〟を合言葉に、今日も繋がっている同じ空の下、カンボジアの端っこの村で、孤児院で、小さな笑顔の種をまいています。

皆さまも機会がありましたらぜひ一度、カンボジアに幸せを見つけに来てみてください。

講師紹介

2005年3月昭和女子大学短期大学部卒業。2007年初めてカンボジアに渡航し、その後グローブジャングルにてカンボジア支援に携わる。現在3児の子育てしながら日本とカンボジアの二拠点生活中。

認定NPO法人 GLOBE JUNGLEの名前に込められた想い

昔懐かしい、虹色の地球儀型回転遊具「グローブジャングル」

一人で回していてもつまらない。みんなで回して、みんなで乗るから楽しいんだ。手動（アナログ）で汗かきながら回しているうちに、みんなが笑顔になっていく。大人も子供も国籍も関係なく、みんなで乗って、参加して笑顔になっていく、そんな連鎖。そこのボクも乗りなよ！ みんなで乗ったら楽しいよ!!（ホームページより抜粋）



https://glojun.com/